

事前評価個表

整理番号	81
------	----

地域（地区）名	<small>さがとうぶ</small> 佐賀東部地域	事業名	森林環境保全直接支援事業
計画策定主体	佐賀県	対象市町村	佐賀市ほか14市町
事業実施期間	H23 ~ H27（5年間）	事業実施主体	県、市町、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地域は、佐賀県の東部の筑後川と北部は脊振山地をもって福岡県と隣接し、西部は佐賀西部森林計画区、南部は多良岳山系をもって長崎県と境をなす区域となっている。また、地区中央南部は、農業が盛んな佐賀平野が広がり、そのさらに南方には、海苔の養殖など多種・多様で豊富な海産物資源を有する有明海にも面しており、農山漁村が一体となった地域となっている。</p> <p>森林面積は65,628ha（森林率41.0%）であり、このうち、民有林が56,092haで、人工林が38,879ha（人工林率69.0%）となっている。また、当地区の森林は、本県北部の福岡県境となる東部から西部にかけて連なる脊振山系を中心とした山々と南部の多良岳山系に多く存在し、本県森林面積の59%を占めている。また、当地区内の森林においては、人工林のうち約8割が7齢級以上の充実した森林資源が存在している。</p> <p>このようなことから、当地区の充実しつつある森林資源の有効活用と住民生活と密接に関わっている多面的機能の高度発揮のため、森林作業道等の路網整備による低コスト化及び集約化の推進と持続的な森林経営による適正な維持、管理が必要となっている。</p> <p>このため、佐賀東部地区森林環境保全整備事業計画を作成し、これに基づく森林整備を推進する必要がある。</p> <p>本計画に基づき、森林資源の効率的かつ有効な活用と水源のかん養等森林の有する諸機能を総合的かつ高度に発揮させるため、施業の集約化を図り、低コストで持続的かつ健全な森林の維持・増進を図ることとしている。</p> <p>なお、他産業との連携に関しては、森林の文化的な利用等、教育分野との連携や、農業、漁業、経済関係等、川上・川下との連携を図り、森林資源の維持と有効活用を図っていく。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：4,478ha 人工造林、樹下植栽等、下刈り、枝打ち、除伐、間伐、森林作業道等</p> <p>総事業費：1,387,405千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 7.76 (総便益(B) = 18,134,289千円、総費用(C) = 2,335,841千円)</p>
評価結果	<p>必要性：森林の維持・増進のため、適正な保育作業等を行うために事業実施の必要性は高い。</p> <p>効率性：投下する費用を上回る効果が見込まれることから、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：適正な森林整備による森林吸収源対策、水源のかん養、国土保全等機能の確保のほか将来の木材の供給にとって有効である。</p> <p>本計画では、森林の多面的機能を発揮するために必要な森林整備が適切に計画されている。また、効率性、有効性も認められることから、森林環境保全整備事業計画として実施することが適当である。</p>

便 益 集 計 表

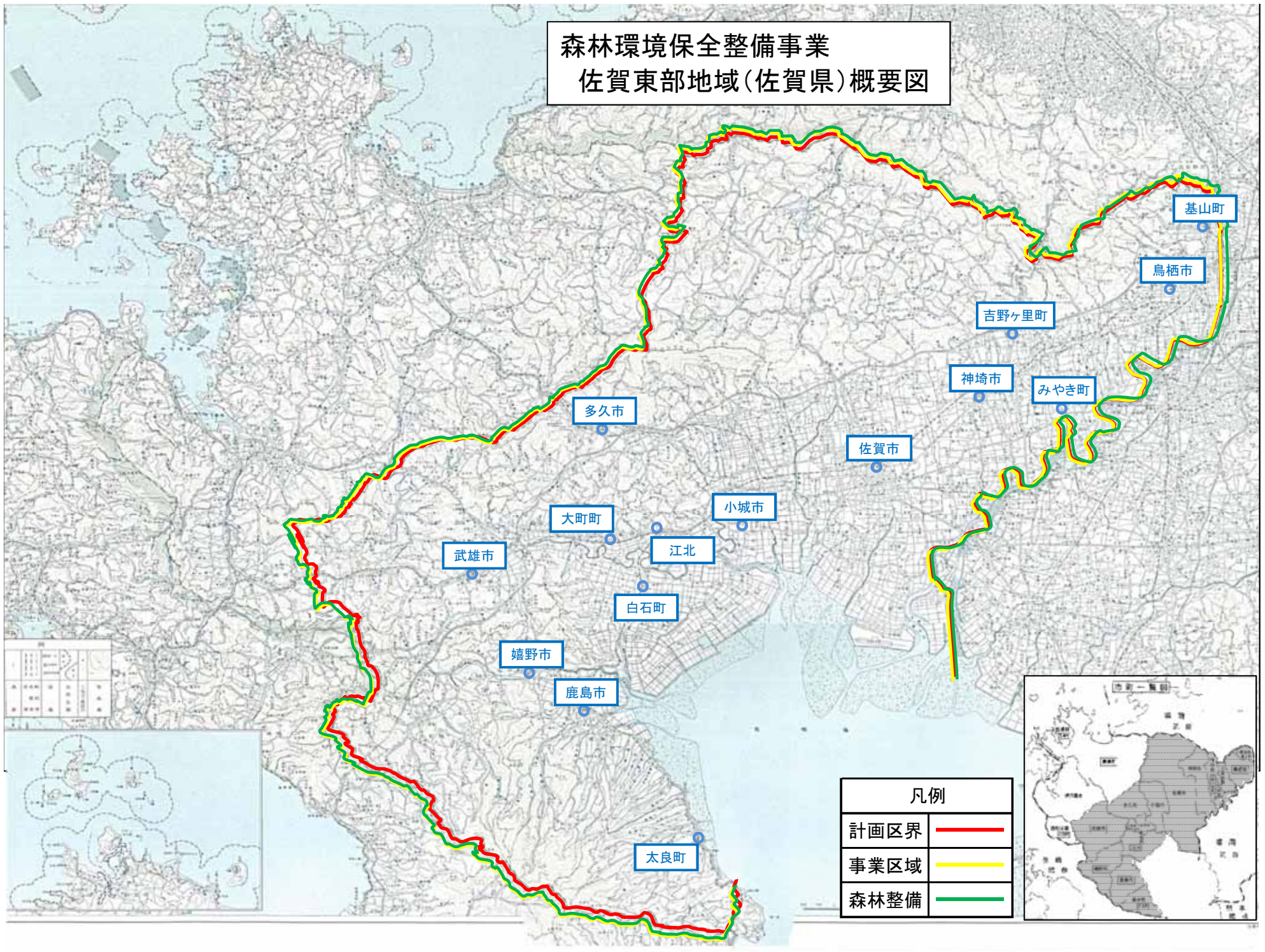
(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業
 地域名: 佐賀東部

佐賀県
 (単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	6,813,449	
	流域貯水便益	1,825,206	
	水質浄化便益	3,115,980	
山地保全便益	土砂流出防止便益	3,586,550	
	土砂崩壊防止便益	959,051	
環境保全便益	炭素固定便益	283,640	
木材生産便益	木材生産確保・増進便益	1,550,413	
総 便 益 (B)		18,134,289	
総 費 用 (C)		2,335,841	
費用便益比	$B \div C = \frac{18,134,289}{2,335,841} = 7.76$		

森林環境保全整備事業 佐賀東部地域(佐賀県)概要図



凡例	
計画区界	—
事業区域	—
森林整備	—